

議会運営委員会の概要

1 議員の辞職願について

- ・坂本議長から、原田和広議員より辞職願の提出があった旨の発言がなされた。
- ・島津委員長から、議員辞職の許可について、本日の本会議に日程を追加して諮る旨の説明があり、了承された。

2 9月定例会追加提出案件の概要について

- ・総務部長から、資料「令和3年9月定例会追加提出案件」により、追加提出案件の概要について説明があり、了承された。

3 常任委員会発議の意見書（案）について

- ・政策調査室長から、常任委員会発議の意見書は、資料「私学助成の充実強化を求める意見書（案）」、「少人数学級編成に向けた計画的な教職員定数改善と必要な財政措置を求める意見書（案）」、「米の需給調整を求める意見書（案）」、「社会資本整備の推進及び財源確保を求める意見書（案）」の4件である旨の説明があり、了承された。

4 常任委員会発議の決議（案）について

- ・政策調査室長から、総務常任委員会より「コロナ克服・経済再生特命補佐の職務内容の公表等を求める決議（案）」が発議される旨の説明があり、了承された。

5 議員の派遣について

- ・事務局次長から、資料「議員派遣一覧表（案）」により、今後予定される9件の議員の派遣について説明があり、了承された。

6 議事日程第5号について

- ・議事調査課長から、資料「会議順序表」、「議事日程（第5号）」等により本日の日程について説明があり、了承された。

7 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の開催について

- ・議事調査課長から、資料「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の開催について（案）」により、本日の特別委員会で、理事会座長が新型コロナウイルス感染症対策に係る提言案の検討状況の報告を行うとともに提言内容を決定し、提言を知事に手交する旨の説明があり、了承された。

8 決算特別委員会の質疑者について

- ・議事調査課長から、資料「決算特別委員会質疑者一覧表」により説明があり、了承された。

9 閉会中の委員会の開催について

- ・議事調査課長から、資料「閉会中の委員会の開催について（案）」により説明があり、了承された。

10 その他

(1) 「令和4年度政府の施策等に対する提案」のフォローアップについて

- ・みらい企画創造部長より、資料「『令和4年度政府の施策等に対する提案』のフォローアップについて」により報告があった。

(2) 職員の不祥事について

- ・教育長より、資料「職員の不祥事について」により報告があった。

【発言概要、質疑等】

(椛津委員) 再発防止のためこれまで何をしてきたのか。また、今後、どう対応していくのか。

⇒(教育長) 「酒席の翌朝は車を運転しない」などの所属のルールを定めることなどを具体的に指導してきたが、今後も指導を徹底していく。

(3) 県立高等学校における個人情報を含むメールの誤送信について

- ・教育長より、資料「県立高等学校における個人情報を含むメールの誤送信について」により報告があった。

【発言概要、質疑等】

(渋間委員) 「CC」で送る習慣があったのか。習慣を改める必要があると考えるがどうか。

⇒(教育長) セキュリティポリシーにより「BCC」で対応するよう定められており、「BCC」により送信するよう徹底していきたい。

(4) その他

【発言概要、質疑等】

(木村委員) 阪神タイガースで活躍している天童市出身の中野拓夢選手に県産米を贈呈していただき、私からも感謝する。今後、新人王を獲得できるように、また、獲得した場合にも、県としてそれぞれ対応をお願いしたい。

(島津委員長) 執行部において検討のうえ対応をお願いする。

11 次回議運開催日時

11月4日(木) 午前10時

12 本日の開議時刻

- ・議会運営委員会終了後、直ちに開議されることが決定された。

議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

令和3年10月8日（金）

午前 10 時

- 1 議員の辞職願について
- 2 9月定例会追加提出案件の概要について
- 3 常任委員会発議の意見書（案）について
- 4 常任委員会発議の決議（案）について
- 5 議員の派遣について
- 6 議事日程第5号について
- 7 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の開催について
- 8 決算特別委員会の質疑者について
- 9 閉会中の委員会の開催について
- 10 その他
- 11 次回議運開催日時
11月4日（木）午前10時
- 12 本日の開議時刻

令和3年9月定例会追加提出案件

1 提出案件（4件）

- (1) 令和2年度山形県電気事業会計未処分利益剰余金の処分について
- (2) 令和2年度山形県工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- (3) 令和2年度山形県公営企業資産運用事業会計未処分利益剰余金の処分について
- (4) 令和2年度山形県水道用水供給事業会計未処分利益剰余金の処分について

2 提案理由

上記4つの公営企業会計において令和2年度に生じた利益剰余金の処分のため、地方公営企業法第32条第2項の規定により提案するもの

意見書(案)

私学助成の充実強化を求める意見書

私立学校は、各々建学の精神に基づき、新しい時代に対応する教育を積極的に展開している。

一方、その経営においては、少子化による園児・生徒・学生の急速な減少と新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応等により、依然として厳しい状態が続いている。

このような状況の中、国は昨年度から年収590万円未満の世帯の私立高等学校授業料の実質無償化を実現し、公私間の格差是正に努めている。

しかしながら、私立高等学校の生徒については、授業料以外の納付金を含めた公立学校との納付金格差は依然として残っており、こうした状況が、これらの私立学校への進路選択の妨げとなっている。

私立学校経営の安定性を高めるには、引き続き支援の充実強化を図る必要がある。

よって、国においては、下記の事項について特段の配慮をされるよう強く要望する。

記

- 1 私立学校が行う新型コロナウイルス感染症対策等に対する財政措置を継続すること。
- 2 施設の耐震化や教育環境維持のための設備の改修に利用できる恒常的な補助制度を創設すること。
- 3 国が進めるGIGAスクール構想の実現に向け、公教育の新たな基盤となるICT環境の整備に対する補助を拡充し、複数年度にわたり支援すること。
- 4 公私間の納付金負担格差の是正・縮小による保護者の負担軽減に向けた支援策を拡充すること。
- 5 平成26年度に創設された職業実践専門課程を有する私立専修学校への助成制度を設けること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 　あて
総務大臣
財務大臣
文部科学大臣

山形県議会議長 坂本 貴美雄

以上、発議する。

令和 年 月 日

提出者 山形県議会総務常任委員長 渋間 佳寿美

意見書(案)

少人数学級編制に向けた計画的な教職員定数改善と必要な財政措置を
求める意見書

人口減少、少子高齢化の進行、急速な社会・経済のグローバル化と技術革新の進展等、社会が大きく変化する中であって、教育をめぐる課題は一層多様化・複雑化している。

また、いじめや不登校などへの対処に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による様々な対応により、教職員の負担は更に増大しており、子どもたちの豊かな学びや教職員の働き方改革を推進するためには、更なる少人数学級の実現と計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充が不可欠である。

国は小学校の学級編制の標準を段階的に35人に引き下げることとしたが、基礎定数化への対応は加配定数からの振替であり、実質的な教職員定数増にはつながらない状況である。

本県においては、少人数によるきめ細かな指導体制の構築を目指し、“教育山形「さんさん」プラン”のもと、国の加配定数の活用に加え、厳しい財政状況の中、県単独の予算も措置しながら、小中学校全学年を33人以下とする等、独自の少人数学級編制を実施しているが、義務教育は全国どこに住んでいても格差が生じてはならないことから、子どもたち一人ひとりへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育が受けられる環境を整備することは、国の果たすべき役割である。

よって、国においては、35人少人数学級を進める中で、児童生徒の個々の能力を最大限に伸ばすための教育環境の確保と教職員の働き方改革を推進するため、計画的な教職員定数改善を推進するとともに、これまで自治体が学級編制の弾力的運用を実施するにあたり、大きな役割を果たしている加配定数を維持・拡充するために必要な財政措置を講じられるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 あて
財務大臣
文部科学大臣

山形県議会議長 坂本 貴美雄

以上、発議する。

令和 年 月 日

提出者 山形県議会文教公安常任委員長 高橋 淳

意見書(案)

米の需給調整を求める意見書

令和2年産の主食用米については、人口減少等による需要減少に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う業務用米の需要減少等により、適正水準を大幅に超える過大な在庫が生じている。

国は、各産地で主食用米の作付転換に取り組んだ結果、需給均衡に必要とされる過去最大規模の6万7千ヘクタールの転換がほぼ達成されたとしたが、これはコロナ禍による予期せぬ需要減少まで見込んだものではなく3年産米の作柄によっては、更なる在庫の積み増しが懸念される。更に、コロナ禍で米の需要低迷が長期化する中、2年産米がこの秋以降に持ち越されれば、3年産米の需給緩和と米価下落は避けられず、4年産作付け転換への上乘せも懸念される。

本県では、これまでも新たなブランド米の開発による需要拡大に努めてきたが、コロナ禍による需要減少は産地の努力で対応できる範囲を超え、米価下落による農業経営への打撃は大きい。需給緩和と米価下落が農業者へ与える影響は深刻なものがあり、稲作を根幹とする本県農業への影響は甚大である。

よって、国においては、コロナ禍による予期せぬ需要減少に対して、下記の対策を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 買入枠拡大等を含めた政府備蓄米制度の運用改善や食料不足に直面している開発途上国への支援米の提供等あらゆる政策を総動員した市場隔離を実施すること。
- 2 米の保管場所確保に向けて倉庫の新設や低温倉庫の改修に係る支援策を講じるとともに、出来秋に向けた出口対策を更に強化・拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
農林水産大臣
あて

山形県議会議長 坂本 貴美雄

以上、発議する。

令和 年 月 日

提出者 山形県議会農林水産常任委員長 遠藤 寛明

意見書(案)

社会資本整備の推進及び財源確保を求める意見書

近年、全国各地で大規模災害が頻発化・激甚化しており、県民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化の取組みは一層重要なものとなっている。本県においても令和2年7月豪雨により県内各地で甚大な被害が発生したことから、国土交通省と連携し、治水対策や、高規格道路等のミッシングリンクの解消と災害時等におけるリダンダンシーの確保に取り組んでいるところである。

このような中、政府においては「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を実施しているが、災害への備えがまだまだ十分とは言えない本県においては、県民の安全・安心を早期に確保するため、安定的に必要な財源を確保することが不可欠である。

よって、国においては、頻発化・激甚化する自然災害を踏まえた対策を引き続き強化するとともに、住民のいのちと暮らしを守り、持続可能な社会を実現するため、下記の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を始め、国土交通省が管理する河川の治水対策を着実に推進するとともに、県が管理する河川の治水対策への支援を拡充すること。
- 2 いまだ多くのミッシングリンクを抱える高規格道路、ダブルネットワーク機能を果たす一般広域道路(直轄国道等)の速達性や降雨・豪雪時の自然災害に対する脆弱性などの課題解消に向け、道路整備促進のための財源を確保すること。
- 3 「カーボンニュートラルポート」形成の実現に向けた取組みを推進するため、洋上風力発電の導入に必要な海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)に酒田港を指定すること。
- 4 豪雪地域における県民の安全・安心の確保を図るため、「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」と同様に、除雪作業等の道路維持管理の強化、防雪柵等の雪寒施設整備の加速及びこれらの実現に必要な財政措置を講じること。
- 5 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源を安定的に別枠で確保するとともに、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債等の地方財政措置を継続・拡充すること。併せて、毎年度の当初予算への計上や予算の繰越しを含め複数年での施工等について柔軟な予算執行上の措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
国土交通大臣
国土強靱化担当大臣
内閣府特命大臣(防災)
あて

山形県議会議長 坂本 貴美雄

以上、発議する。

令和 年 月 日

提 出 者 山形県議会建設常任委員長 梶 原 宗 明

決 議 (案)

コロナ克服・経済再生特命補佐の職務内容の公表等を求める決議

県は、令和3年3月9日に副知事の選任についての議案が否決された後、副知事不在による県政の停滞を回避するため、同月11日、コロナ克服・経済再生特命補佐を設置した。

今般、副知事の選任についての議案が提出され、この同意に伴い副知事とコロナ克服・経済再生特命補佐の二人体制となることから、県政の透明化を図るため、下記の項目について県民に明らかにするよう求める。

記

- 1 副知事とコロナ克服・経済再生特命補佐との役割分担を明確にすること。
- 2 コロナ克服・経済再生特命補佐が行った助言・調査等の職務の内容を速やかに県民に分かりやすく公表すること。

以上、決議する。

令和 年 月 日

山 形 県 議 会

以上、発議する。

令和 年 月 日

提 出 者 山形県議会総務常任委員長 渋 間 佳寿美

議員派遣一覧表(案)

令和3年10月8日

番号	内 容
35	<p>山形東高等学校生徒と県議会議員との意見交換会</p> <p>(1) 目 的 上記の意見交換会出席のため</p> <p>(2) 場 所 山形市</p> <p>(3) 期 間 令和3年10月18日(月)</p> <p>(4) 議 員 名 今野美奈子、関徹、渋間佳寿美、矢吹栄修</p>
36	<p>米沢興譲館高等学校生徒と県議会議員との意見交換会</p> <p>(1) 目 的 上記の意見交換会出席のため</p> <p>(2) 場 所 米沢市</p> <p>(3) 期 間 令和3年11月11日(木)</p> <p>(4) 議 員 名 今野美奈子、遠藤和典、松田敏男、柴田正人、奥山誠治</p>
37	<p>東南村山地域議員協議会</p> <p>(1) 目 的 村山地域(うち東南村山地域)の事業の進捗状況等の確認や地域課題等の調査・審議を行うため</p> <p>(2) 場 所 山形市</p> <p>(3) 期 間 令和3年11月19日(金)</p> <p>(4) 議 員 名 梅津庸成、遠藤寛明、遠藤和典、菊池文昭、矢吹栄修、渡辺ゆり子、吉村和武、高橋啓介、森谷仙一郎、鈴木孝、奥山誠治、金澤忠一</p>
38	<p>西村山・北村山地域議員協議会</p> <p>(1) 目 的 村山地域(うち西村山・北村山地域)の事業の進捗状況等の確認や地域課題等の調査・審議を行うため</p> <p>(2) 場 所 村山市</p> <p>(3) 期 間 令和3年11月19日(金)</p> <p>(4) 議 員 名 菊池大二郎、松田敏男、青柳安展、加賀正和、榎津博士、小野幸作、野川政文</p>

39	<p>最上地域議員協議会</p> <p>(1) 目的 最上地域の事業の進捗状況等の確認や地域課題等の調査・審議を行うため</p> <p>(2) 場所 新庄市</p> <p>(3) 期間 令和3年11月19日(金)</p> <p>(4) 議員名 山科朝則、小松伸也、伊藤重成、坂本貴美雄</p>
40	<p>置賜地域議員協議会</p> <p>(1) 目的 置賜地域の事業の進捗状況等の確認や地域課題等の調査・審議を行うため</p> <p>(2) 場所 米沢市</p> <p>(3) 期間 令和3年11月19日(金)</p> <p>(4) 議員名 相田光照、青木彰榮、五十嵐智洋、柴田正人、渋間佳寿美、島津良平、木村忠三、船山現人</p>
41	<p>庄内地域議員協議会</p> <p>(1) 目的 庄内地域の事業の進捗状況等の確認や地域課題等の調査・審議を行うため</p> <p>(2) 場所 三川町</p> <p>(3) 期間 令和3年11月19日(金)</p> <p>(4) 議員名 今野美奈子、高橋淳、梶原宗明、関徹、石黒覚、田澤伸一、森田廣、星川純一、志田英紀</p>
42	<p>農林大学校学生と県議会議員との意見交換会</p> <p>(1) 目的 上記の意見交換会出席のため</p> <p>(2) 場所 新庄市</p> <p>(3) 期間 令和3年11月29日(月)</p> <p>(4) 議員名 梅津庸成、高橋淳、森谷仙一郎、奥山誠治、船山現人</p>
43	<p>米沢東高等学校生徒と県議会議員との意見交換会</p> <p>(1) 目的 上記の意見交換会出席のため</p> <p>(2) 場所 米沢市</p> <p>(3) 期間 令和3年11月30日(火)</p> <p>(4) 議員名 遠藤寛明、青木彰榮、五十嵐智洋、島津良平</p>

会 議 順 序 表

[議事日程第5号]

令和3年10月8日(金)

	会 議 ・ 議 事 順 序	採決方法												
1	○ 議会運営委員会 (議事日程第5号、その他)													
2	< 開 議 > ○ 諸般の報告 (追加議案及び決算書等の送付)													
3	○ 議案及び請願上程 (議第124号から議第143号まで、議第145号及び議第146号の22件並びに請願) ○ 常任委員長報告 文 教 公 安 常任委員長 厚 生 環 境 常任委員長 農 林 水 産 常任委員長 商工労働観光 常任委員長 建 設 常任委員長 総 務 常任委員長 ○ 議案採決 (1) 議第124号から議第143号まで及び議第145号の21議案 (2) 議第146号 山形県副知事の選任について ○ 請願採決	簡 易 簡 易 簡 易												
4	○ 議案及び決算上程 (議第147号から議第150号までの4件及び17決算) ○ 説明(知事、会計管理者、企業管理者、病院事業管理者) ○ 決算特別委員会設置・議案及び決算付託													
5	○ 意見書案上程・採決 (発議第15号から発議第18号までの4件)	簡 易												
6	○ 決議案上程・採決 (発議第19号)	簡 易												
7	○ 議員の派遣について上程・採決	簡 易												
8	○ 議員の辞職について(日程追加) < 閉 会 >	簡 易												
9	○ 本会議終了後の日程 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">時 刻</th> <th style="width: 35%;">委 員 会 名</th> <th style="width: 35%;">会 場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本 会 議 終 了 後</td> <td>決 算 特 別 委 員 会</td> <td>予 算 特 別 委 員 会 室</td> </tr> <tr> <td>決 算 特 別 委 員 会 終 了 後</td> <td>新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 特 別 委 員 会</td> <td>予 算 特 別 委 員 会 室</td> </tr> <tr> <td>新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 特 別 委 員 会 終 了 後</td> <td>健 康 医 療 ・ 女 性 若 者 活 躍 対 策 特 別 委 員 会</td> <td>第 6 委 員 会 室</td> </tr> </tbody> </table>	時 刻	委 員 会 名	会 場	本 会 議 終 了 後	決 算 特 別 委 員 会	予 算 特 別 委 員 会 室	決 算 特 別 委 員 会 終 了 後	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 特 別 委 員 会	予 算 特 別 委 員 会 室	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 特 別 委 員 会 終 了 後	健 康 医 療 ・ 女 性 若 者 活 躍 対 策 特 別 委 員 会	第 6 委 員 会 室	
時 刻	委 員 会 名	会 場												
本 会 議 終 了 後	決 算 特 別 委 員 会	予 算 特 別 委 員 会 室												
決 算 特 別 委 員 会 終 了 後	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 特 別 委 員 会	予 算 特 別 委 員 会 室												
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 特 別 委 員 会 終 了 後	健 康 医 療 ・ 女 性 若 者 活 躍 対 策 特 別 委 員 会	第 6 委 員 会 室												

議 事 日 程 (第 5 号)

令和3年10月8日(金) 午前10時開議

- | | | |
|------|--------|--|
| 第 1 | 議第124号 | 令和3年度山形県一般会計補正予算 (第5号) |
| 第 2 | 議第125号 | 令和3年度山形県港湾整備事業特別会計補正予算 (第1号) |
| 第 3 | 議第126号 | 令和3年度山形県流域下水道事業会計補正予算 (第1号) |
| 第 4 | 議第127号 | 令和3年度山形県病院事業会計補正予算 (第2号) |
| 第 5 | 議第128号 | 山形県手数料条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 6 | 議第129号 | 山形県流域下水道条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 7 | 議第130号 | 山形県県道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 8 | 議第131号 | 漁港事業に要する費用の一部負担について |
| 第 9 | 議第132号 | 防災減災事業等に要する費用の一部負担について |
| 第 10 | 議第133号 | 河川内水利施設適正化事業等に要する費用の一部負担について |
| 第 11 | 議第134号 | 都市計画街路事業に要する費用の一部負担について |
| 第 12 | 議第135号 | 流域下水道の建設事業に要する費用の一部負担について |
| 第 13 | 議第136号 | 港湾事業に要する費用の一部負担について |
| 第 14 | 議第137号 | 急傾斜地崩壊対策事業に要する費用の一部負担について |
| 第 15 | 議第138号 | 小型船舶用自走式ホイストの取得について |
| 第 16 | 議第139号 | 山形県郷土館等の指定管理者の指定について |
| 第 17 | 議第140号 | 健康の森公園の指定管理者の指定について |
| 第 18 | 議第141号 | 山形県金峰少年自然の家の指定管理者の指定について |
| 第 19 | 議第142号 | 権利の放棄について |
| 第 20 | 議第143号 | 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所及び同社福島第二原子力発電所の事故に基づき生じた損害賠償の和解のあっせんの申立てについて |
| 第 21 | 議第145号 | 令和3年度山形県一般会計補正予算 (第6号) |
| 第 22 | 議第146号 | 山形県副知事の選任について |
| 第 23 | 請願 | |
| 第 24 | 議第147号 | 令和2年度山形県電気事業会計未処分利益剰余金の処分について |
| 第 25 | 議第148号 | 令和2年度山形県工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について |
| 第 26 | 議第149号 | 令和2年度山形県公営企業資産運用事業会計未処分利益剰余金の処分について |
| 第 27 | 議第150号 | 令和2年度山形県水道用水供給事業会計未処分利益剰余金の処分について |
| 第 28 | | 令和2年度山形県一般会計歳入歳出決算 |
| 第 29 | | 令和2年度山形県公債管理特別会計歳入歳出決算 |
| 第 30 | | 令和2年度山形県市町村振興資金特別会計歳入歳出決算 |
| 第 31 | | 令和2年度山形県母子父子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算 |
| 第 32 | | 令和2年度山形県国民健康保険特別会計歳入歳出決算 |
| 第 33 | | 令和2年度山形県小規模企業者等設備導入資金特別会計歳入歳出決算 |
| 第 34 | | 令和2年度山形県土地取得事業特別会計歳入歳出決算 |

- 第 35 令和2年度山形県農業改良資金特別会計歳入歳出決算
- 第 36 令和2年度山形県沿岸漁業改善資金特別会計歳入歳出決算
- 第 37 令和2年度山形県林業改善資金特別会計歳入歳出決算
- 第 38 令和2年度山形県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算
- 第 39 令和2年度山形県流域下水道事業会計決算
- 第 40 令和2年度山形県電気事業会計決算
- 第 41 令和2年度山形県工業用水道事業会計決算
- 第 42 令和2年度山形県公営企業資産運用事業会計決算
- 第 43 令和2年度山形県水道用水供給事業会計決算
- 第 44 令和2年度山形県病院事業会計決算
- 第 45 発議第15号 私学助成の充実強化を求める意見書
- 第 46 発議第16号 少人数学級編制に向けた計画的な教職員定数改善と必要な財政措置を求める
意見書
- 第 47 発議第17号 米の需給調整を求める意見書
- 第 48 発議第18号 社会資本整備の推進及び財源確保を求める意見書
- 第 49 発議第19号 コロナ克服・経済再生特命補佐の職務内容の公表等を求める決議
- 第 50 議員の派遣について

請 願 審 査 結 果 一 覧 表

令和3年9月定例会

区分	番号	受理年月日	関係委員会	件名	提出者	紹介議員	審査結果	措置
請願	27	3.9.10	農林水産	米の需給調整を求める意見書の提出について	山形市七日町三丁目1番16号 山形県農業協同組合中央会 代表理事会長 折原 敬一 外1名	梶原、菊池（文）、 小野、伊藤、船山	採択	
〃	28	3.9.15	総務	日本政府に核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出について	鶴岡市宝田一丁目3-23 生活協同組合共立社 理事長 安達 忠士	関、渡辺	継続審査	
〃	29	3.9.17	総務	私学教育の支援について	山形市松波四丁目6-11 山形県私学会館内 公益社団法人山形県私立学校総連合会 会長 九里 廣志 外2名	原田、梶原、青柳、 伊藤、田澤	採択	
〃	30	3.9.17	総務	私学助成の充実強化を求める意見書の提出について	山形市松波四丁目6-11 山形県私学会館内 公益社団法人山形県私立学校総連合会 会長 九里 廣志 外2名	原田、梶原、青柳、 伊藤、田澤	採択	
〃	31	3.9.17	農林水産	新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書の提出について	山形市大字門伝字裏城1 農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹	関、渡辺	継続審査	
〃	32	3.9.17	文教公安	安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級の実現を求める意見書の提出について	山形市薬師町二丁目6-15 新発見ビル 少人数学級をすすめる県民の会 世話人代表 高木 紘一 外2名	関、渡辺	継続審査	
〃	33	3.9.17	総務	2022年度県予算における、私学助成関係予算の拡充について	山形市上町一丁目9-17 山形県私学助成をすすめる会 代表 渡邊 誠一	梅津、松田、高橋 (啓)	採択	

付託委員会	件数	審査結果			
		採択	不採択	継続審査	撤回
総務	4	3		1	
文教公安	1			1	
農林水産	2	1		1	
計	7	4		3	

継 続 審 査 請 願 審 査 結 果 一 覧 表

令和3年9月定例会

区分	番号	受理年月日	関係委員会	件名	提出者	紹介議員	審査結果	措置
請願	9	元. 12. 3	厚 生 環 境	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について	山形市青田南6番28号 山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁	関、松田、石黒、 高橋（啓）	継続 審査	
〃	10	元. 12. 3	厚 生 環 境	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出について	山形市青田南6番28号 山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁	関、松田、石黒、 高橋（啓）	継続 審査	
〃	19	2. 12. 1	厚 生 環 境	東京電力福島第一原発事故により発生したALPS処理水の海洋放出を行わないことを求める意見書の提出について	米沢市春日5丁目2番62-8 朝日ホームⅡ 101号 福島原発被災者フォーラム山形・福島 代表 武田 徹	原田、高橋（淳）、 松田、青柳、石黒	継続 審査	
〃	21	3. 2. 18	総 務	山形県知事選挙公開政策討論会条例の制定について	山形市相生町3番33号 山形県知事選挙公開政策討論会条例の制定を求める会 代表 長澤パティ 明寿	遠藤（寛）、相田、 梶原、菊池（文）、 五十嵐、柴田、佐藤、 小松、舩山	継続 審査	
〃	23	3. 6. 14	厚 生 環 境	選択的夫婦別姓導入を求める意見書の提出について	山形市松山三丁目14番60号 新日本婦人の会山形県本部 会長 奥山 一恵	関、渡辺	継続 審査	
〃	24	3. 6. 15	商工労働観光	山形地方最低賃金の改善を求める意見書の提出について	山形市木の実町12番37号 日本労働組合総連合山形県連合会 会長 小口 裕之	原田、松田、高橋 （啓）	撤回	
〃	25	3. 6. 15	厚 生 環 境	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出について	山形市青田南6番28号 山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁	原田、松田、高橋 （啓）	継続 審査	

区分	番号	受理年月日	関係委員会	件名	提出者	紹介議員	審査結果	措置
〃	26	3.6.15	総務	日本政府に核兵器禁止条約の署名及び批准並びに締約国会議へオブザーバーとして参加することを国に求める意見書の提出について	山形市木の実町12番37号 山形県平和センター 議長 船山 整	原田、松田、高橋 (啓)	継続審査	

付託委員会	件数	審査結果			
		採択	不採択	継続審査	撤回
総務	2			2	
厚生環境	5			5	
商工労働観光	1				1
計	8			7	1

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の開催について（案）

1 開催日時

令和3年10月8日（金） 決算特別委員会終了後

2 場 所

予算特別委員会室

3 調査事件

新型コロナウイルス感染症対策等について

4 内 容

- ・ 知事への提言に係る取りまとめの経過と概要の説明（理事会座長）
- ・ 提言決定 及び 同提言の知事への手交

5 執行部出席要求者

知事、関係部局長等

決算特別委員会質疑者一覧表

月 日	質 疑 者
10月29日(金)	(自由民主党) 渋 間 佳寿美 委員
	(県政クラブ) 高 橋 淳 委員

○ 質 疑 時 間 60分以内(答弁含む)

閉会中の委員会の開催について（案）

委 員 会	日 時
常任委員会	11月 5日（金）午前10時
3特別委員会	11月 8日（月）午前10時

（参考）

委 員 会	日 時
決算特別委員会	分科会 10月27日（水）午前10時 10月28日（木）午前10時
	総括質疑 10月29日（金）午前10時

「令和4年度 政府の施策等に対する提案」のフォローアップについて

1 概要

令和4年度の政府の施策等に対する提案を行った項目について、各府省が示した概算要求等の内容を踏まえ、反映状況を整理したものを。

2 反映状況

提案項目数64項目のうち、

(1) 反映されているもの【49項目】

<主なもの>

第1部「新型コロナ克服と経済再生」を目指して

① 新型コロナ克服に向けた体制の確立

(注) 令和4年度予算額は概算要求額、令和3年度予算額は当初予算額

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
新型コロナウイルス感染症から命と健康を守る取組みの強化	・ 感染症に関する差別・偏見やインターネット上の人権侵害等の解消 [法務省]	41.6 億円 (35.5 億円)
医師偏在の是正や自治体病院への経営支援強化等～地域住民が安心して暮らせる医療提供体制の構築～	・ 医師偏在対策の推進 [厚生労働省]	21 億円 (20 億円)

② ポストコロナを見据えた地方分散の実現による地域経済の再生

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
地方への新たな人の流れを創出する取組みの強化	・ 地方における企業拠点の強化を促進する税制措置(適用期限:令和4年3月末)の拡充・延長 [内閣府]	制度改正
中堅・中小企業、小規模事業者のポストコロナに向けた事業継続と持続的発展の取組みの推進	・ ものづくり等高度連携・事業再構築促進事業(事業再構築、革新的な製品・サービス開発等を支援)(新規) [経済産業省]	25.4 億円 (ー 億円)
ポストコロナを見据えた地方の観光施策への支援	・ 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出(新規) [国土交通省]	事項要求 (ー 億円)

第2部「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」を目指して

I 次代を担い地域を支える人材の育成・確保

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
学習環境改善・学校における働き方改革推進のための支援の充実	・ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の配置 [文部科学省]	103 億円 (39 億円)
公立学校施設整備に必要な財源確保及び廃校校舎等の解体に対する財政支援の充実	・ 公立学校施設の整備 [文部科学省]	2,352 億円 + 事項要求 (688 億円)

II 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
持続可能な食料生産システムを支える農業生産基盤の整備推進と農業農村整備事業予算の安定確保	・ 農業農村整備事業 [農林水産省]	3,946 億円 (3,333 億円)
森林(モリ)ノミクスの推進による地域活性化	・ 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策(都市部における木材利用の強化、官民連携による木材利用拡大の機運醸成等) [農林水産省]	223.9 億円 (123.1 億円)
水産業の成長産業化に向けた支援の強化	・ 漁業経営安定対策 [農林水産省]	617.6 億円 (333.4 億円)

III 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
伝統的工芸品産業をはじめとする地場産業における販路拡大及び人材確保のための支援強化	・ 海外展開のための支援事業者活用促進事業(中小企業が行う新商品・サービスの開発、海外への販路拡大等の取組みを支援) [経済産業省]	9.4 億円 (8.0 億円)
中堅・中小企業、小規模事業者のポストコロナに向けた事業継続と持続的発展の取組みの推進 [再掲]	・ ものづくり等高度連携・事業再構築促進事業(事業再構築、革新的な製品・サービス開発等を支援)(新規) [経済産業省]	25.4 億円 (ー 億円)
特色ある文化資源を活かした地方創生の推進	・ コロナ禍の文化芸術活動等の継続・発展等支援(新規) [文部科学省]	事項要求 (ー 億円)
ポストコロナを見据えた地方の観光施策への支援 [再掲]	・ 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出(新規) [国土交通省]	事項要求 (ー 億円)

IV 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
流域治水の着実な推進	・ 治水事業 [国土交通省]	9,894 億円 (8,367 億円)
高齢者等もその家族も安心して暮らせる社会の実現	・ 介護施設等における防災・減災対策の推進 [厚生労働省]	12 億円 + 事項要求 (12 億円)
次世代が「幸せな暮らし」を実感できる支援の強化	・ 地域少子化対策重点推進交付金 [内閣府]	30.0 億円 (8.2 億円)
女性活躍による経済活性化のための総合的な施策展開	・ 地域女性活躍推進交付金 [内閣府]	11.6 億円 (1.5 億円)

V 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
高規格道路・一般広域道路の整備推進と財源の確保	・ 直轄道路事業 [国土交通省]	1兆 9,011 億円 (1兆 5,994 億円)
洋上風力発電の円滑な導入に向けた環境整備	・ 電源接続の系統確保要件に関する柔軟な対応 (系統確保プロセスにおける判断時期の前倒し) [経済産業省]	制度改正

VI 東北全体の復興・再生に向けた施策の展開

提案項目	反映されている主な事業等	令和4年度予算額 (令和3年度予算額)
東日本大震災に伴う広域避難者に対する支援の継続	・ 被災者支援総合交付金 [復興庁]	120 億円 (125 億円)

(2) 現在検討中・今後検討されるもの【8項目】

<主なもの>

- ・ 子育て世代の経済的負担の軽減（出産育児一時金の増額） など

(3) 不明または未反映のもの【7項目】

<主なもの>

- ・ 公共職業訓練に対する支援の充実（訓練生の経済的負担を軽減するための奨学金制度の創設） など

以上

職員の不祥事について

1 事故者

教育庁スポーツ保健課 調整専門員 佐藤佳克 55歳 男

2 事故の概要

- 令和3年8月17日（火）、事故者は、通常勤務を終え帰宅後、自宅で飲酒した。同日深夜、自家用車を運転しコンビニエンスストアまで出かけ、その経路上で物損事故を起こした。
- 事故者は一旦帰宅したが、同日深夜から翌18日（水）朝にかけて、通報を受けた警察から任意の取調べを受けた。
- 令和3年10月7日（木）、事故者は、酒気帯び運転により県公安委員会から免許取消しの行政処分を受けた。
- ※ 事故者の運転時や事故当時の記憶があいまいだったため、県教育委員会としてこの間、慎重に事実確認を進めていたもの。

3 当該事故を受けた対応

- 事案の態様を踏まえ、厳正に対処する。
- 知事部局における飲酒運転事案を受け、令和3年9月13日付で飲酒運転撲滅に向けた教育長通知を全所属・県内全公立学校へ発出しているが、管理職を通して改めて通知趣旨の徹底を図り、職員一人一人の不祥事防止の意識向上に更に取り組んでいく。

県立高等学校における個人情報を含むメールの誤送信について

1 発生日時

令和3年10月5日（火） 午前11時15分頃

2 概要

- 県立鶴岡中央高等学校の教職員が、10月23日開催の「中学生対象学校説明会」の参加申込者に連絡事項をメールで一斉送信した際に、本来他人にメールアドレスがわからないようにBCCで送信すべきところ、誤ってCCで送信してしまった。
- その際、アドレス帳に氏名も登録していたため、申込をした中学生の氏名とメールアドレスが他の人にも送信された。
- 送信したメールは、264件。
- 現在のところ、二次被害は確認されていない。

3 鶴岡中央高校の対応

- 事故発生日に、誤送信したメールを削除するように受信者に依頼した。また、同日、校長名でお詫びのメールを送信した。
- 事故翌日から、申込者、保護者及び所属中学校長に対し、電話にて謝罪している。

4 当該事故を受けた県教育委員会の対応

- 当該高等学校における業務体制を検証し、再発防止を徹底する。
- 全県立学校に対し、情報セキュリティポリシーの趣旨の徹底を図ること、特に、個人情報を取り扱う際やメールを一斉送信する際には複数名で確実に点検すること等を徹底するよう指導していく。